

平成17年度
事業報告書

財団法人 大阪国際児童文学館

<はじめに>

当法人は、設立以来、児童文学・児童文化に関する図書その他の資料の収集保存、活用及び調査研究並びに国際交流に係る各種事業を実施することにより、児童文学・児童文化振興に努めてきた。

平成17年度は、大阪府教育委員会からの受託業務として、児童文学等の資料の収集、整理、保存及び児童文学館の管理運営を行なった。また、子ども読書活動推進事業等を受託し実施した。当法人の主催事業として、絵本を通して、韓国と日本の文化の相互理解を深めるとともに、国内外の研究者のネットワーク構築に寄与するため「韓国と日本の絵本」をテーマにしたシンポジウムやその他児童文学・児童文化の講座等を開催した。また、夢の池劇場やこども室行事の開催、共同研究事業の実施、国際交流事業として「国際グリム賞」の授賞や系統的な外国語資料の収集及び解説等を行い児童文学・児童文化等の振興に努めた。

経営目標を事業、財務、人事組織の各分野ごとに設け、その実現を図るとともに、児童文学資料の収集・整理・保存・活用機能を維持し、調査・研究については、より利用者ニーズに対応したものに重点化を図り、管理的経費の縮減や、利用者のニーズと意見の把握など経営改善に取り組んだ。

事業目標の分野においては、より利用者満足度の高いサービス提供に努めるため、「経営評価委員会」を開催し、平成16年度の経営評価を行った。

財務目標の分野においては、国等の助成資金の活用を図るなど事業費等の確保に努め、財務体質の改善を行った。

人事・組織の分野においては、人事評価を実施したほか、職員研修を計画的に実施するなど人材育成に努めた。

また、平成17年度には指定管理者制度の下での施設運営、事業実施のための検討を行い、平成18年3月に指定を受けて、平成18年度からの5年間、大阪府立国際児童文学館の管理運営にあたることとなった。

I 役員会等

1. 理事会

開催年月日	議事内容
17. 5. 12	(1) 評議員の選出について
17. 6. 1	(1) 評議員の選出について
17. 6. 28	(1) 平成16年度事業報告について (2) 平成16年度収支決算について (3) 評議員の選出について
17. 7. 12	(1) 理事長、常務理事の選出 (2) 評議員の選出について (3) 指定管理者の募集への対応について
18. 3. 29	(1) 評議員の選出について (2) 平成17年度収支予算の補正について (3) 平成18年度事業計画について (4) 平成18年度収支予算について

2. 評議員会

開催年月日	議事内容
17. 5. 23	(1) 理事の選任について
17. 6. 14	(1) 平成16年度事業報告について (2) 平成16年度収支決算について (3) 役員を選任について
17. 10. 18	(1) 理事の選任について
18. 2. 14	(1) 平成17年度収支予算の補正について (2) 平成18年度事業計画について (3) 平成18年度収支予算について

3. 運営協議会

法人運営の基本的事項について協議を行った。

第1回 平成17年6月7日

第2回 平成18年2月7日

4. 役員の変動について（敬称略）

(1) 理事の変動（年月日）

(就任) 伊藤 誠 (17. 5. 23)	(退任) 総山 哲男
あまんきみこ (17. 6. 14)	(退任) 猪熊 葉子
谷口 文夫 (17. 6. 14)	(退任) 榊居 孝
三宅 興子 (17. 6. 14)	(退任) 中川 正文
中井 昭夫 (17. 10. 18)	(退任) 森田 衛

(2) 監事の変動（年月日）

(就任) 清家 裕 (17. 6. 14)	(退任) 濱口 公子
-----------------------	------------

(3) 評議員の変動（年月日）

(就任) 西村 一夫 (17. 5. 12)	(退任) 高田 尚文
〃 北野 義幸 (17. 5. 12)	〃 近森 正志
〃 島 善信 (17. 5. 12)	〃 成山 治彦
〃 黒田 忠一 (17. 6. 1)	〃 長野 順治
〃 黒田 正記 (17. 6. 28)	〃 西村 一夫
〃 竹内 長武 (17. 6. 28)	〃 勝尾 金弥
〃 森井 弘子 (17. 6. 28)	〃 三宅 興子
〃 向野 洋子 (17. 6. 28)	〃 安達 研
〃 仲村 淳一 (17. 7. 12)	〃 小林 行雄
〃 矢木 一美 (18. 3. 29)	〃 向野 洋子

II 事業実施の概要

1 受託事業

(1) 講堂等施設の利用

児童文学等の催し等のために講堂、セミナー室、特別閲覧室を一般の利用に供した。

講 堂	セミナー室	特別閲覧室	計	府費徴収納付額合計 313,270円
19件	42件	45件	106件	

(2) こども室、閲覧室の利用

月	入館者数	こども室の利用				閲覧室の利用		
		新規登録者数	貸出人数	貸出冊数	リファレンス	入室者数	閲覧冊数	リファレンス
4	6,146	51	499	2,074	15	417	1,887	58
5	5,217	51	426	1,708	24	354	1,948	69
6	3,612	34	353	1,693	19	231	3,018	87
7	3,913	42	307	1,271	19	318	2,343	64
8	4,073	94	383	1,873	26	228	2,236	51
9	4,251	60	337	1,524	18	256	3,259	64
10	5,623	59	428	2,033	40	285	1,583	64
11	6,560	47	420	1,860	14	179	1,561	64
12	3,712	27	250	1,176	5	141	1,723	37
1	3,536	24	316	1,671	36	168	2,488	51
2	2,759	22	162	854	7	124	2,105	27
3	6,405	57	390	1,865	7	295	4,041	66
計	55,807	568	4,271	19,602	230	2,996	28,192	702

(3) 資料の特別貸出等

公共の機関や団体が展示等に利用するために、次のとおり当館資料の特別貸出を行った。

貸出件数	28件
貸出資料点数	788点

(4) 資料の収集

資料収集は、寄贈資料をも含め現在出版されている児童書及び研究書を収集するとともに、関連資料についても収集するように努めた。なお、複本の収集については、これを見直したほか、マンガ本については、子どもの読者を対象としたものに限定するなど収集の精査を行い、外国語資料については、開架用の理論書、絵本等に収集の重点を置いて収集を行なった。その主な内容は、次のとおりである。

- ① 日本及び外国の児童図書
- ② 児童文学・児童文化に関する研究書
- ③ 整理業務及び閲覧に必要な参考資料

(購入資料)

(単位：点)

区 分		前年度までの累計	17年度購入実績	合 計
図 書	和 書	135,931	6,065	141,996
	洋 書	20,312	96	20,408
	合 計	156,243	6,161	162,404
雑 誌		55,778	1,705	57,483
そ の 他		1,947	1	1,948
合 計		213,968	7,867	221,835

(寄贈資料)

(単位：点)

区 分		前年度までの累計	17年度寄贈実績	合 計
図 書		188,053	2,870	190,923
雑 誌		194,451	3,465	197,916
そ の 他		121,860	731	122,591
合 計		504,364	7,066	511,430

(5) 資料の整理

購入・寄贈資料について、当館の整理方針に基づき整理を行った。

(資料の整理状況)

(単位：点)

区 分		前年度までの累計	17年度整理実績	合 計
図 書		344,296	9,031	353,327
雑 誌		250,229	5,170	255,399
そ の 他		123,807	732	124,539
合 計		718,332	14,933	733,265

※貸出用資料の破損、複本の活用等による払出数・・・40,585点(現在数 692,680点)

(6) 子ども読書活動推進事業

ア. 「大阪府子ども読書活動推進連絡協議会」の組織・運営

平成13年12月に「子どもの読書活動に関する法律」が制定され、大阪府では、これを受けて、平成15年1月に「大阪府子ども読書活動推進計画」を策定した。

当館は、この計画に基づき大阪府から委託を受けて、行政関係者、公立図書館、学校図書館関係者、子どもの読書活動に取り組む府民グループ等を構成員とした「大阪府子ども読書活動推進連絡協議会」(事務局 財団法人大阪国際児童文学館)を設置し、子ども読書活動の支援を行った。また、ボランティアグループのリストを作成し、今後の読書活動推進のための連携協力に活用してもらうこととした。(収録数 162グループ)

イ. ボランティア講座の開催

大阪府から委託され、府域全体において子どもの読書活動に取り組む人材(ファシリテータ)を養成する講座と、すでに活動しているボランティアなどのスキルア

ップのための講座を行った。

○ 子ども読書ファシリテータ講座

学校や図書館等で活動しているボランティアを対象に、ボランティア同士のネットワークや学校や図書館等との連携を広げるための方法等をグループワーク等を通して学び、地域でのさまざまな読書活動の充実に生かすことを目的として開催。

第1期 高石市民文化会館 受講者 17名

回	開催日	講座内容	講師
1	9月9日(金)	「子どもたちと本をつなぐ活動の推進」	大阪府教育委員会 大阪府立中央図書館
		「子どもへの読書サービスの原点 ー地域とのつながりの中でー」	熊取町立熊取図書館 司書 原田貴子
2	9月16日(金)	「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪ボランティア協会事務局次長 名賀享
		ワークショップ 「子どもの読書活動を活性化するために」 コーディネーター：(財)大阪国際児童文学館職員	
3	9月30日(金)	「地域の読書環境ネットワークづくり」	大阪府子ども文庫連絡会代表 森崎シヅ子
		地域交流会 「おはなしスキルアップ講座」修了生や昨年度の講座修了生、講座講師等との交流会 コーディネーター：(財)大阪国際児童文学館職員	

第2期 〈モデル事業〉富田林市立金剛図書館

富田林市をモデル市として、図書館と市内の講座修了者、および地域のボランティア、子どもに関わる行政機関を中心に実行委員会を組織して、他の市民団体等とも連携を深めながら、地域のニーズに沿った読書活動を支援するための事業を開催した。

第1回 65名(一般も参加可) 第2・3回 33名

回	開催日	講座内容	講師
1	1月25日(水)	「絵本から広がり、深まる世界」	武蔵野大学非常勤講師 永田桂子
2	2月9日(木)	「富田林の子どもたちの現在」 富田林市保健センター、富田林市保育課、富田林市子育て支援課、富田林子ども文庫連絡会、富田林市立図書館、それぞれの立場から見えてきた富田林の子どもたちの現状を報告。あと、意見交換	

3	2月16日 (木)	「ワークショップ」 絵本・てあそび・わらべうたなど
---	--------------	---------------------------

第3期 高槻市立生涯学習センター 受講者 23名

回	開催日	講座内容	講師
1	1月13日(金)	「子どもたちと本をつなぐ活動の推進」	大阪府教育委員会 大阪府立中央図書館
		「子どもの読書をコーディネートしよう」	大阪ボランティア協会事務局次長 名賀享
2	1月20日(金)	「子どもへの読書サービスの原点 ー地域とのつながりの中でー」	大阪府子ども文庫連絡会代表 森崎シヅ子
		ワークショップ パート1 「子どもの読書活動を活性化するために」 コーディネーター：(財)大阪国際児童文学館職員	
3	1月27日(金)	「地域の読書環境ネットワークづくり」	箕面市子ども文庫連絡会 新井せい子
		ワークショップ パート2 「私たちが今できること」 ～子どもの読書活動の今とこれから～	

○ おはなしスキルアップ講座

大阪府から委託され、おはなしボランティアとしての活動経験のある人を対象に、絵本の選び方、おはなし会の企画のしかた、地域での活動のあり方について講座やワークショップを通して学び、おはなしボランティアとしてのスキルアップの機会とすることを目的として開催した。

第1期 開催日：6月17日、6月24日、7月1日、7月8日、7月15日
9月30日（地域交流会）

場 所：阪南市立文化センター・阪南市商工会館（阪南市）

第2期 開催日：10月6日、10月13日、10月20日、10月27日、
11月10日

場 所：柏原市立国分図書館（柏原市）

第3期 開催日：2月3日、2月10日、2月17日、2月24日、3月3日

場 所：池田市立図書館（池田市）

第1期から第3期 受講者122名（定員120名・各回40名）

内 容 「すべての子どもに本の楽しさを」他

講 師 福山恭子氏（視覚障害児のためのわんぱく文庫代表）
他当館職員等

ウ. シンポジウム、交流会の開催

子どもの読書活動を推進するためには、図書館の役割がキーになるため、図書館から「学校との連携」、「ボランティアとの連携」、「乳幼児サービス」について報告を受けて参加者とともに考えるシンポジウムを開催した。シンポジウム終了後、ワークショップ形式で交流会を開催した。

開催日：平成18年3月10日(金)

場 所：ホテルアウィーナ大阪

パネラー：岩佐直美氏（羽曳野市立中央図書館司書）

高橋優子氏（茨木市立中央図書館司書）

上田栄美氏（富田林市立中央図書館司書）

コメンテーター

塩見昇氏（日本図書館協会理事長・大阪教育大学名誉教授）

参加者数 シンポジウム 85名

交流会 48名

2 主催事業

(1) 団体利用プログラムの作成・実施

子どもの本の総合的な資料・情報センターとしての利点を活かし、団体別・テーマ別のプログラムを作成し、府内の保育所・幼稚園・小学校・中学校約3,450カ所に配布し、館の利用の促進に努めた。

プログラム利用実績（平成17年4月～18年3月）

保育園（所）・幼稚園	：	11団体	524名
小学生 低学年	：	7団体	849名
小学生 高学年	：	8団体	585名
中学生	：	3団体	157名
その他の団体	：	6団体	527名
計	：	35団体	2,642名

(2) ホームページの充実

館の利用案内、事業情報、複写依頼、レファレンス受付ページ等ホームページの内容の充実に努めた。また、子ども向けの図書検索システム「本の海大冒険」の利用や当館所蔵の図書、雑誌についてもホームページ上から検索可能となっている。

所蔵する豊富な資料情報をより活用してもらうためには、既存の実績ある国内ネットワークへの加入が必須であるため、最も定評のあるNACSI S WEB CAT（国立情報学研究所）に加入した。

「アクセス数」 93,651件

(3) 「子どもゆめ基金」からの助成事業

独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターが行う同基金助成金を受け、事業を実施した。

助成事業 「子どもの本の世界を楽しもう」

交付確定額 688,080円

内 容 ワークショップ、人形劇等

((5)「夢の池劇場」等の開催 c、d、m、n参照)

(4) 講座・講演会の開催

児童文学・文化振興のため、次のとおり講座・講演会を開催した。(敬称略)

①児童文学講演会		
「生誕100年 椋 鳩十の世界」(共催：大阪国際児童文学館を育てる会)		
講 師 久保田喬彦(椋 鳩十の長男)、鳥越 信(児童文学者)		
平成17年6月5日(日)午後	当 館	参加 83名
②シンポジウム「韓国と日本の絵本」プレ研究会		
「チョン・スンガクと田島征三の絵本を読む」		
レポーター 大竹聖美(韓国児童文学研究者、翻訳家、東京純心女子大学助教授)		
鈴木穂波(豊中市立第一中学校司書)		
司会 三宅興子(梅花女子大学大学院教授)		
平成18年1月29日(日)午後	当 館	参加 24名
③2005年度ボランティア研修講座		
a スキルアップ講座 「こどもと本をよむ」		
講 師 当館職員ほか		
平成17年5月17日～11月15日(全4回)	当 館	参加 21名
b 団体利用研修		
講 師 当館職員ほか		
平成17年6月7日、6月14日	当 館	参加 6名
c おはなし会研修		
講 師 当館職員ほか		
平成17年6月21日～11月22日(全3回)	当 館	参加 17名
④新刊児童書の紹介と解説		
a 「2004年に出版された子どもの本」1部絵本・2部読物・3部知識の本		
講 師 右田ユミ(箕面市立豊川南小学校学校図書館司書)、当館職員		
平成17年4月24日(日)午後	当 館	参加 延べ152名
b 「2004年に出版された子どもの本」1部絵本・2部読物・3部知識の本		
講 師 右田ユミ(箕面市立豊川南小学校学校図書館司書)、当館職員		
平成17年4月25日(月)午後	当 館	参加 延べ142名

(5) 「夢の池劇場」等の開催

児童文学・文化振興のため、「夢の池劇場」やおはなし会、ワークショップ等のこ
室行事を開催した。

(敬称略)

①「夢の池劇場2005」		
a「バオバブの木の下でー西アフリカのおはなしー」＋書庫ツアー		
語り：江口一久（国立民族学博物館名誉教授） 太鼓演奏：河辺知美（太鼓演奏家）、ジョセフ・ンコシ（パラフォンの演奏家）		
平成17年5月3日（火・祝）午後	当館	参加 子ども69名大人71名 書庫ツアー3名
b「世界のアニメーション」＋書庫ツアー		
協力 プラネット映画資料図書館		
平成17年5月4日（水・祝）午後	当館	参加 子ども60名大人70名 書庫ツアー9名
c ワークショップ「しんやひろゆきさんと漫才にトライ！」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講師 しんやひろゆき（原作者）		
平成17年5月5日（木・祝）午後	当館	参加 子ども13名（大人見学8名）
d 人形劇 「漫才の星になるんや」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
上演 人形劇団京芸		
平成17年5月5日（木・祝）午後	当館	参加 子ども58名大人57名
②こども室行事		
a おはなし会「はるのはなし」ほか		
出演 当館ボランティア、当館職員		
平成17年4月10日～平成18年3月19日（20回）	当館	参加 子ども278名大人235名
b オーストラリア絵本作家ワークショップ		
講師 ロン・ブルックス（絵本作家）		
平成17年6月12日（日）午後	当館	参加 子ども25名大人28名
c おはなしのバスケット（子ども読書の日記念）		
出演 当館ボランティア		
平成17年4月17日（日）午後	当館	参加 子ども10名大人9名
d ワークショップーおはなしであそぼうー		
講師 当館職員		
平成17年5月29日～平成17年9月25日（4回）	当館	参加 子ども31名大人23名
e 冬の詩をたのしもう		
指導 当館職員		
平成17年12月4日（日）午後	当館	参加 子ども8名大人3名

f 科学あそび「熱で風車をまわそう」 「つくろう！たのしもう！アニメーション」		
講 師 山方剛（工作クラブ主宰） 小谷佳津志（近畿アニメーション協議会）		
平成17年4月 3日（日）午後 平成17年7月24日（日）午後	当 館	参加 子ども17名参加 子ども28名（大人見学20名）
g 大型ビデオ上映会「くまのアニメーション」		
協 力 ヤマハミュージックメディア レン コーポレーション		
平成17年8月28日（日）午後	当 館	参加子ども10名大人12名
h 万博コスモスフェスタ2005「ことばあそび大会」		
プログラム進行 当館職員		
平成17年10月23日（日）午後	万博公園自然文化園花の丘	参加127名
i よみがえる街頭紙芝居ー上演と展示ー		
出 演 近藤博昭、垣淵貞子、鬼塚悦子（三邑会紙芝居師）、当館職員		
平成17年11月6日（日）午後	当 館	参加 1回目子ども15名大人13名 2回目子ども12名大人11名
j お楽しみ会「世界のおはなし」		
指 導 人形劇グループ「ぱれっと」、当館職員		
平成17年12月18日（日）午後	当 館	参加子ども58名大人46名
k カルタとり大会 「大型絵本カルタの作成とカルタとり」		
指 導 当館職員		
平成18年1月8日（日）午後	当 館	参加子ども28名（大人見学26名）
l 万博公園ふれあいの日協賛 「おはなしクイズに挑戦」		
平成18年3月12日（日）午後	当 館	参加子ども113名
m 関野吉晴さんのグレートジャーニー（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講 師 関野吉晴（探検家・ノンフィクション作家）		
平成18年10月2日（日）午後	当 館	参加子ども8名大人28名
n 絵本作家 金尾恵子さんと絵本を作ろう（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講 師 金尾恵子（絵本作家）		
平成18年3月21日（火・祝）午後	当 館	参加子ども31名（大人見学40名）

(6) 調査研究事業の実施

児童文学・児童文化に関する調査研究を次の各テーマについて行った。

○共同研究のテーマ

- ・ インターネットを活用した子ども向け図書検索ナビゲーションシステムの開発研究
- ・ 大阪府子どもの読書活動を支える機関・団体の状況に関わるアンケート調査

(7) 特別研究員制度の創設

外部の研究者と新たなネットワークを築くとともに、当館の資料の活用を図るため、一定の実績を有する研究者に当館の資料を職員と同じ条件で利用できる便宜を図って、その成果を展示の企画運営、講演会の開催、紀要への論文掲載等に還元してもらう制度を創設し、試行的に研究員を募集した。

- ・ 佐藤宗子
期 間：前期と後期
テーマ：児童文学における翻訳・再話の研究
還 元：展示の企画・運営（2006年5～7月「フランダースの犬」展）
- ・ 宮本大人
期 間：前期と後期
テーマ：昭和戦前・戦中期から戦後占領期にかけての子ども向け物語漫画の研究
還 元：展示の企画・運営（2007年度予定「講談社の絵本の漫画」展〈仮題〉、紀要論文発表予定）
- ・ 香曾我部秀幸
期 間：後期
テーマ：明治・大正期の絵本・絵雑誌における視覚表現の変遷
還 元：展示の企画・運営（2006年11月～2007年1月予定「明治・大正期の歴史英雄画像の変遷」展〈仮題〉）、紀要論文発表

(8) 国際交流事業「韓国と日本の絵本」

平成15年度まで実施してきた「外国人客員研究員招聘事業」の成果を継承しつつ、幅広い人達に興味や関心を持ってもらうことのできる「絵本」をテーマに、アジア地域における児童文学先進国を重点的にとりあげる新しい事業を開始した。平成17年度は、その芸術性の高さから注目されており、日本でもさまざまなシリーズが出版され、手にとって読むことのできる韓国の絵本を取り上げ、その成果を情報発信するため、下記の事業を実施した。

① シンポジウム「韓国と日本の絵本」の開催（財団法人日韓文化交流基金助成事業）

日程	平成18年3月12日（日）
開催場所	当館
講師	チョン・スンガク氏（韓国絵本作家） 田島征三氏（日本絵本作家）
コーディネーター	大竹聖美氏（韓国児童文学研究者、翻訳家、東京純心大学助教授）
内容	韓国及び日本を代表する絵本作家がそれぞれの作品について語り合うことによって、韓国及び日本の絵本の魅力を知り、「子ども」や「絵本」一般についても考える機会

とする。
参加者数 122名

② 論文集の発行

「絵本」や「韓国」に対する理解度の向上を図ると同時に、同分野の研究促進を図るため、シンポジウムの記録に加えて、「韓国と絵本」というテーマで編集した複数の論文を一冊の論文集にまとめ、府域図書館・国内外研究機関等へ配布する。

③ 韓国の絵本展の開催及び貸出用絵本セット作成

専門家による選書と解説によって、平成16年度作成のものと比較してより子どもの興味・関心をひくものに焦点をあて、子どもに親しみやすいテーマ別に構成した絵本の展示を行った。その後、絵本セットとして、学校、公共図書館、ボランティア団体等に無料で貸し出しする。

<賛助企業：大阪ガス(株)、関西電力(株)、近畿日本鉄道(株)、サントリー(株)、武田薬品工業(株)、(株)竹中工務店、東洋紡績(株)、松下電器産業(株)>

(9) 資料・情報交換

次の海外関係機関と資料・情報の交換を行った。

「資料交換対象機関」・スウェーデン児童文学研究所
・ジェノバ市立国際児童図書館（イタリア）
・国際児童図書館（ドイツ）
・児童文学研究所（フィンランド）
・ライデン大学（オランダ）
・国際シャルル・ペロー研究所（フランス）
・スイス児童図書研究所
・セブンストーリーズ（イギリス）ほか

(10) 資料複写利用者サービス事業

一般利用者の求めに応じて、当館所蔵資料の複写事業を実施した。
マイクロフィルム電子印画 及び電子式複写印画 35, 506枚

(11) 出版・編集事業の実施

児童文学・文化振興のため、次のとおり出版・編集事業を実施した。

- ・第21回ニッサン童話と絵本のグランプリー童話大賞受賞作品
「7ページ目 ないしょだよ」
- ・第21回ニッサン童話と絵本のグランプリー絵本大賞受賞作品
「白い道」
BL出版（株）と提携 平成17年12月刊行
- ・紀要19号発行

(12) 資料等の展示

児童文学・文化振興のため、次のとおり当館所蔵資料等の展示を行った。

- ①「ニッサン童話と絵本のグランプリ入賞作品展」 (平成17年4月1日～4月26日)
(平成18年3月2日～3月30日)

協賛：日産自動車株式会社

- ②「異聖歌生誕100年展」 (平成17年4月29日～7月30日)

- ③「賢治曼陀羅（泉啓一追悼ガラス絵）展」
(平成17年8月1日～平成17年10月30日)

- ④「絵本の絵を読もう～ページをめぐる、ドラマがうまれる～展」
(平成17年11月1日～平成18年2月13日)

(13) 創作童話と絵本の募集

児童文学・文化振興のため、童話・絵本の募集事業を次のとおり実施した。

「第22回ニッサン童話と絵本のグランプリ」

- ・ 募集期間 平成17年7月～10月
- ・ 表彰式 平成18年3月19日（日）（当館講堂）
- ・ 応募数 2,930篇（童話 2,375篇・絵本 555篇）
- ・ 後援 文部科学省
大阪府教育委員会
社団法人日本国際児童図書評議会
日本児童文学学会
社団法人日本児童文学者協会
- ・ 協賛 日産自動車株式会社

(14) 国際児童文学研究賞事業

児童文学の振興を図るため、財団法人金蘭会と共催で設置した国際児童文学研究賞（国際グリム賞）の第10回受賞記念式典及び講演会を日本イギリス児童文学学会研究大会と併催する形で行った。

受賞式典及び講演会	平成17年11月13日（日）
記念講演会テーマ	「児童文学における「力」—誰のために？何のために？」
受賞者・講師	マリア・ニコラエヴァ教授（スウェーデン）
通訳	多田 昌美氏（美作大学助教授）
参加者	137名